お守り

森野 水琴

彼はマラソンの完走メダルを首からぶら下げて胸ポケットの中に入れ、お守りにしている。つらい時にはメダルに触れて、レースを思い出す。成功の証としての効果てきめんで、たいがいの窮地は乗り越えられる。

完走メダルが授与されるマラソもあれば、授与されないマラソンもある。それにしてもマラソンを完走すればメダルは増えていく。彼は最新のメダルをお守りにしている。

先日のマラソン大会では完走メダルが有料で限定販売された。購入予約は出ず完走してから買うことになる。

レースの途中の関門で制限時刻まで、あと三分とか、あと二分という状態になり、彼は無性に完走メダルが欲しくなった。

無事完走し、何とか完走メダルを購入した彼は、良いお守りとして携帯し、当日の夜は美酒に酔った。